



鹿田施設 : 岡山市北区鹿田町 2-5-1 TEL : 086(235)7445 e-mail: animal@md.okayama-u.ac.jp

Homepage : <http://www.cc.okayama-u.ac.jp/~animal/>

津島北施設 : 岡山市北区津島中 3-1-1 TEL : 086(251)8473

Homepage : http://www.cc.okayama-u.ac.jp/~animal/tsushima_kita_hp/index.html

津島南施設 : 岡山市北区津島中 1-1-1 TEL : 086(251)8382

Homepage : http://www.cc.okayama-u.ac.jp/~animal/tsushima_minami_hp/index.html



感染実験区域にマウス用個別換気型 (IVC) 飼育ラックを整備しました

感染実験区域のマウス収容数の確保のためにテクニプラスト社製個別換気ケージシステム (Individually Ventilated Cage System: IVC) を整備しました。既に 2018 年に 1 台導入しており、今回は 2 台目の導入となります。

本装置の特徴はケージ単位での強制換気を行う個別換気式飼育システムであり、HEPA フィルターにより浄化されたクリーンな空気を各ケージに供給し、ケージ内で発生した動物由来の空気を排気口に送ります。排気は HEPA フィルター処理され排出する仕組みになっているため、ケージ間相互の微生物感染を防止できるほか、臭気とアレルゲン飛散の軽減効果が期待できます。また、給気は微風かつ動物に直接当たらないように工夫されており、ストレスを軽減します。さらに 1 台あたりの最大収容ケージ数は 35 ケージで、従来型の収容数 16 ケージの 2 倍以上になり、スペース効率も大幅に向上します。

○従来型飼育ラック



スペース効率が向上し、収容能力が倍増しました。

まだまだ十分動物を搬入して頂くことができるようになりました。

ぜひお役立てください。

お問い合わせは感染実験区域担当までお願いいたします。



○ IVC ラック専用ケージについて

給気される気流が直接動物に当たらないため、動物にストレスを与えません。ケージの隅々まで微風速の気流が行き渡り、ケージ内の環境を均一に保ちます。また、床敷の乾燥状態を維持し、アンモニア濃度の上昇を抑え床敷交換頻度を軽減します。



個別空調（エアコン）を整備しています

動物資源部門ではマウス・ラット飼育室の温度を平均 $23 \pm 1^\circ\text{C}$ で管理しておりますが、空調機器の性能、飼育室の配置などの条件により、制御しきれない箇所がいくつかありました。本年度は3月末に1階感染実験区域BSL-2飼育室に設置します。予算の都合上一度に全ての室を整備することは難しいのですが、このような条件の室には追加で個別空調を毎年数台ずつ設置して補っています。また、各実験室にも個別空調を設置しておりますので、必要に応じてご利用ください。実験終了後には忘れないようにスイッチをOFFにして頂き、省エネ運用にご協力をお願い申し上げます。



※ 夏場等、極端に室温を下げると動物に影響がでますのでご注意ください。



光触媒脱臭装置を設置しました

動物資源部門では多数の動物を飼育管理しておりますが、動物の発する臭気の軽減は課題のひとつと位置づけられています。空調整備の改良、最新の飼育設備の導入で空気の流れを制御することにより建物内の臭気は平成26年の施設改修以前と比較してかなり軽減されましたが、建物外に排出された空気は脱臭は未処理のため、季節や風向きにより施設周囲で強い臭気を感じる場合があります。岡山大学は市街地に位置しているため、学外近隣への影響も考慮する必要があることから、光触媒脱臭装置を設置し臭気の軽減を図ることと致しました。3月中旬現在設置工事中で稼働開始は3月下旬を予定しております。

まずは最も飼育頭数の多い4階マウス区域から設置を行い、効果を評価しながら徐々に整備して行く計画です。



屋上に設置された脱臭装置

この整備は皆様の目にはなかなか触れない部分ですので、改善効果を実感して頂きにくいところではありますが、今後も周辺環境を含めたより良い動物実験の構築に努力して参りますので、今後とも皆様のご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

また、利用者の皆様がどのような整備をご希望されているか、ご意見がございましたら動物資源部門までぜひお寄せください。今後の整備計画に組み込ませて頂きます。